

問題 次の□内の詩を注にならって解答用紙に続く形ですべてそのまま書き写し、後の問に答えなさい。

問一 ― 線部のひらがなを漢字に直しなさい。

問二 〽 線部のことばの使い方が正しいものを次の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

「かすかな」

- ア かすかに残った小遣いでやりくりをする。
イ 競り合いの結果、かすかに赤組が勝利した。
ウ かすかな記憶を頼りに昔住んだ街を歩く。
エ かすかなことをきっかけに不仲になった。

「もどかしい」

- ア もどかしい思いでクリスマスがやってきた。
イ 時間に遅れてしまったのは非常にもどかしい。
ウ もどかしい説明でその場をなんとか収めた。
エ 靴を履くのももどかしい気持ちで走り出した。

「かたくなな」

- ア 彼は最後までかたくなに断り続けていた。
イ あなたのかたくなな心に変感謝しています。
ウ この店は大変かたくなな味わいの料理で有名だ。
エ 多くの問題がかたくなにかかわり、解決できない。

課題文は著作権上の問題により、掲載しておりません。

ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

出典 谷川俊太郎「そのひとがうたうとき」

注1 連と連の切れ目の一行分のスペースは、そのまま一行空けて記述しなさい。

注2 ― 線などは書き写さなくてよいものとします。